

医療安全

参加形式: 必須

指標名: 転倒・転落 b.入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル 3b 以上の発生率

定義の要約:

分子) 入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル 3b 以上の転倒・転落件数

分母) 入院患者延べ数(人日)

指標の定義・算出方法:

1. 調査期間中の入院患者延べ数(許可病床数にかかわらず 24 時現在に在院していた患者数および退院患者数)の合計を分母とする。
2. 分母のうち、医療安全管理部門へインシデント・アクシデント報告が提出された入院中の転倒・転落件数のうち、インシデント影響度分類レベルが 3b 以上の件数を分子とする。
 - (ア) 入院患者以外の転倒・転落によるものは分子から除外する。
 - (イ) 転倒・転落発生日が分母と同月の場合に分子に含む。
 - (ウ) 医療スタッフによる介助時や移動時の転倒・転落によるものは分子に含む。
 - (エ) 医療施設の敷地外や外泊中の転倒・転落によるものは分子に含む。
 - (オ) 意図的な転倒・転落によるものは分子に含む。
 - (カ) 同一患者における複数回の転倒・転落によるものは個別にカウントする。
 - (キ) 同一患者における同一転倒・転落に対し複数のインシデント・アクシデント報告が提出された場合には、複数の報告を 1 件として分子に含む。

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 1000$	‰(パーミル)

その他:

用語定義:インシデント・アクシデント報告とは、インシデント影響度分類に定められた範囲で医療安全管理部門へ報告されたものを指す。

インシデント影響度分類

レベル	障害の継続性	障害の程度	障害の内容
レベル 5	死亡		死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)
レベル 4b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
レベル 4a	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
レベル 3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人

			工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
レベル 3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル 2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
レベル 1	なし		患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル 0			エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
その他			

意義:

転倒・転落を予防し、発生時の損傷を軽減する。

留意点:

転倒・転落件数をインシデント・アクシデント報告が提出された転倒・転落件数とする場合、レポート報告体制によって発生率に影響が出る可能性がある。

参考資料:

Implementation Guide for the NQF Endorsed Nursing-Sensitive Care Measure Set 2009

国立大学附属病院長会議常置委員会 医療安全管理体制担当校. 国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針(改訂版)平成 24 年 6 月.